令和５年９月４日

令和５年度　　東久留米西地区　けやき教室だより

けやき

第6号

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。夏休みはいかがお過ごしでしたか。コロナが５類に移行しての夏休みは、今までできなかった外出や旅行、部活動などに時間を使うことができたのではないでしょうか。けやき教室で夏の思い出を聞くのを楽しみにしています。

さて、２学期が始まりました。教育相談期間の面談で学校生活の様子を振り返り、連携型個別指導計画で２学期以降の目標を確認しました。目標が達成できるように課題に向き合い、自分のもっている力を発揮し、力を伸ばしていってほしいです。２学期もご協力・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

夏休みのワークショップ

電線をいろいろな形にしたり、形と形をつなぎ合わせたりして、オリジナルの作品を作り上げました。今回は、好きなものやキャラクターを組み込みました。それをワイヤーで表現する人もいれば、キーホルダーのようにする人もいました。とても素敵な作品が仕上がりました。

作品の工夫や見どころ、苦戦したこと、やってみての感想等を発表しあいました。

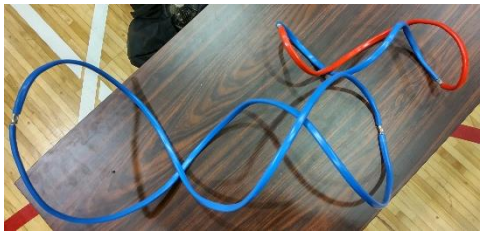
恐竜の頭

ワイヤーを使って頭と首をどう表現するか考えました。

走魂

シンプルにレオが主になるようにしました。

たたむらせん



実際にたためるようにしました。形を自由に作れて、とても楽しかったです。

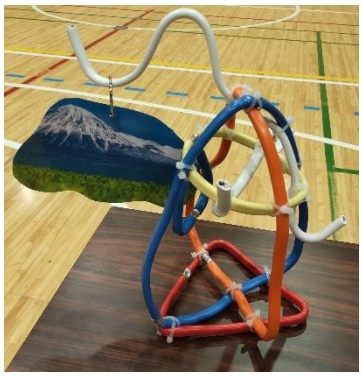
グッズ置き

いろいろなところにグッズを置けるようにしました。

沢山飾れるグッズツリー

三重になっている部分は空間が空くように軽く締めたりして締めの具合を工夫しました。２つの土台をつなぐ部分はハートにすることでとで可愛くなるようにしました。

思い出は忘れない♡



富士山をイメージして、上に上に…を表現しました。活動していきながらイメージが膨らんでいくのでワクワク感が止まりませんでした。

整理したイカ

いろいろなものを片付けられるものを作ると、イカになりました。

写真展・推し☆

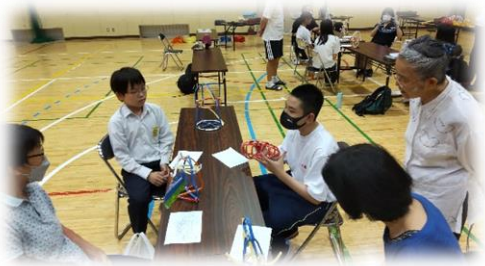
たくさん段を作って、なるべくたくさんの絵を付けました。すごく難しかったけど楽しかったです。

パステルタワー

薄い色を使って、推しの色合いに少し似せました。上の曲がっている部分には物をかけられるようにしました。ワイヤーを使った作品は初めてで大変でしたが楽しかったです。

上野・浅草めぐり

東京スカイツリーをイメージしましたが、実際とはちょっとかけ離れてしまいました。



講師の加藤先生は、自由な発想からできた作品を見て､｢ユーモアのある素晴らしいものができましたね」と感激していました。また、作品に刺激を受けたようで、ご自身の作品作りに意欲が高まり、元気をもらったとおっしゃっていました。

けやき教室の授業とは違う環境で活動を行い、最後までやり遂げることができて素晴らしかったです。手先を器用に使いながら、集中して取り組んでいました。今後の授業でも、自分のもっている力を発揮していってください。

けやき教室の授業が始まります。生活リズムは安定してきましたでしょうか。時間割を確認して、授業に臨んでください。２学期も何卒宜しくお願いいたします。

～合理的配慮について～

近年、学習上・生活上に困難を抱えている人が、保護者や子ども（生徒）の申請により、活動によりよく参加できるように合理的配慮を学校や企業で受けています。合理的配慮は､他の人と同じように参加したり、少しのサポートで同じ土俵に立てることや困難が解消されて活動できることが目的とされています。さらに、学校や企業に申請し、合意形成が得られて始めて、合理的配慮ができるようになります。どんなサポートや支援を得られると、活動がしやすいのか自分自身で知っておくことも必要です。それは、学校だけではなく、今後、大人になって快適に生活していくためにも、自分のことを学校や企業に自分で伝える力が必要になってきます。そのためにも、今は自分の得手・不得手を理解し、自身の課題に向き合っていけると良いかと思います。

また、合理的配慮をやりすぎても、本人の負担になることもあるので、相談や観察、本人の気持ちを考慮することが大切です。

しかし、合理的配慮は誰でもできるわけではありません。発達検査（WISC など）や医師の診断、本人の実態等を鑑みていきます。合理的配慮について理解を深めていただければ幸いです。